

平成27年度
ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI
(研究成果の社会還元・普及事業)
実施報告書

HT27164 「海岸生物を採集し、受精発生のしくみを調べてみよう」



開催日：平成27年8月30日(日)
実施機関：名古屋大学
(実施場所) (大学院理学研究科附属臨海実験所)
実施代表者：澤田 均 (大学院理学研究科附属臨海
(所属・職名) 実験所・所長/教授)
受講生：小学5・6年生7名、中学生6名、高校生3名
関連URL：<http://www.bio.nagoya-u.ac.jp/~SugashimaMBL/>

【実施内容】

【工夫点】応募者が20名を大幅に超えたため、先着順で20名を選んだ。4名が直前でキャンセルしたため、最終的には生徒16名、保護者等13名、学振・大学本部からの参加者3名の合計32名の参加となった。参加者の利便性を考慮して、名古屋大学から鳥羽駅までバスをチャーターして移動し、近鉄利用者と鳥羽駅で合流して、チャーター船で菅島臨海実験所に移動した。バスでの移動時には子供達が飽きないようにクイズを行ったり、DVDを見せる等して、サイエンスに興味をもってもらう工夫をした。教員・学生と参加者が談笑しながら一緒に昼食をとる等、交流の輪を広げる工夫を行った。

【当日のスケジュール】7:15-7:30 受付、名古屋大学豊田講堂前集合(バスの場合)→9:45-10:00 受付、近鉄「鳥羽」駅前集合(電車の場合)→10:30チャーター船にて臨海実験所へ→11:00臨海実験所到着→11:00-11:15開講式(あいさつ、科研費の説明、ならびに実習概要の説明)→11:20-12:30 海岸動物の生態分類に関する実習→12:30-14:00 昼食(交流会)ならびに海岸散策 14:00-15:30 実習(採集生物の解説と観察)→15:30-16:00 アンケート記入、意見交換会、未来博士号授与式、集合写真撮影→16:00臨海実験所出発→16:20近鉄「鳥羽」駅前到着、終了・解散(名大行きバスに乗る人は乗車)→19:15名古屋大学到着後解散。

【実施の様子】当日は午前中雨天のため磯採集はできなかったが、昼食後の晴れ間を利用して、海岸生物の観察をすることができた。予め磯場から採集した海岸動物の生態分類に関する説明を午前に行った。昼食後、実験室でウニの採卵方法と受精実験、ならびにホヤの発生観察を行った。

《船に乗って菅島へ》



《海の生物を観察》



《海の生物を使って実験、顕微鏡で観察》



《モニターを使って説明》



《参加者の感想、表彰式》



【事務局との協力体制】 名古屋大学企画課から1名参加され、打合せを行った。また、研究協力部研究支援課外部資金係が振興会への連絡調整等を行い、購入物品の検討等の経費の執行および予算管理については、理学部・理学研究科事務部門にて行う等、事務担当者等と連絡を密に取った。

【広報体制】インターネットからの申込が非常に早く、大勢からの応募があったので、今年も新聞広告は出さなかった。参加者にはメールで数回連絡をとり、参加確認や事務連絡を行った。

【安全体制】磯採集は雨で岩場が濡れていることもあり、中止にした。それに代わって海岸観察を行った。これに関しても怪我しないように細心の注意を払った。TAを含めて教員全員で監視し、怪我なく無事終えることができた。

【今後の発展性課題】

科研費で支援された研究内容を小中学生に理解させるのは難しかった。小中学生には、海岸で動植物がどのように棲息しているのかを自分の目でみて、触る体験学習が重要であるが、高校生には高度な実習を企画しても良かった。小中学生と高校生の2グループに分けて実習することも今後の検討課題である。

【実施分担者】

白江 麻貴 理学部・特任助教

伊勢 優史 理学部・特任助教

中澤 志織 理学部・特任助教

砂川 昌彦 理学部・技術職員

福岡 雅史 理学部・技術職員

【実施協力者】 _____ 5 名

【事務担当者】 加納 典雄 研究協力部研究支援課・外部資金係長